

パネル展示

ビルマ海員組合

## タイ国境に暮らす ビルマ難民の子どもたち



### 平和のないビルマ

ビルマといえば、軍事政権に支配されている国だということを、日本の皆様はご存知だと思います。ビルマ国内には平和がありません。

5人以上の集会在禁止されているため、学生自治組織や労働組合の結成も、そして政治活動やデモなどもまったく出来ません。

私たちビルマ海員組合は、海に依存して暮らしているビルマ労働者の権利のために、タイ・インド・アメリカ・日本など様々な国で活動しており、ビルマ民主化運動も関わってきました。

ビルマでは、クーデターにより軍事政権が権力を掌握した1988年以来、全土で政府の政策に反対する個人・団体が逮捕されるという野蛮な行為が続いています。国民は、日常生活の中でも常に軍事政権を恐れ、不安をかかえています。

### 安全を求めて国外へ

1988年8月の全国民主化運動で、多くの政治家、学生、僧侶、労働者が逮捕され、同時に大勢の人々がビルマから逃げ出しました。投獄されていた政治家や学生の一部は解放されましたが、生命の危険から国外に逃亡した人々も大勢います。

国内経済の悪化により、人間的な生活を求めビルマから出国する人も多く、隣国のタイ国境へ流入するビルマ人が毎年増加しています。このことは、ビルマ国内では安心して生活できないことを示しています。

### 強制労働を強いられる子供たち

さらに、児童労働の問題があります。軍事政権は子どもたちへの強制労働を禁止していないため、家族のあるなしにかかわらず、多くの子どもたちが、タイや他の隣接国に逃げ

ています。国の宝物である子どもたちが、将来の不安におびえながら他国で苦勞している姿を見るのは悲しいことです。

教育も受けられず、貧乏な生活しか考えられない子どもたちの未来を救うのは私たちの義務です。

そのため私たちは、タイとビルマの国境に難民として逃げている子どもたちの教育支援をしています。



道路工事に1家族1人が強制労働に駆り出される

### 自由と人権の回復を

私たちはビルマ国内に限らず、世界中どこでも軍事政権から弾圧を受けます。軍事政権に弾圧され、自由や人権を奪われている私たちは、平和の大切さを身に染みて感じています。私たちは、ビルマのみならず世界の平和を願い「9条フェスタ2007」に参加する予定です。今、ビルマで何が起きているのか、写真をご覧いただければ皆様にも想像出来るでしょう。ビルマの手料理も召し上がれます。ぜひご参加を。世界の平和のために、日本人もビルマ人もともに協力し、平和な社会をつくりましょう。